



上北だより

令和2年10月1日
練馬区立上石神井北小学校
校長 本橋 教子

人のために

校長 本橋 教子

先日『透明のトイレ』のことを知りました。

「え？透明のトイレっ？あり得ない。」

ご存じの方も多いかと思いますが、そのあり得ないものが渋谷区の公園に8月に設置されたそうです。

基本的にガラス製のこのトイレは特殊なシートがガラスに貼ってあるそうで、そのシートにわずかな電気が通ると透明になり中の様子が見えます。中から鍵をかけると電気が切れ、曇りガラスに戻り中の様子が見えなくなるようになります。

私たち教員も校外学習で公園等に出かける時など、トイレの問題は大変大きな問題です。子供たちの利用するトイレに危険がないかひとつひとつの個室をチェックする、反対側の入り口から不審者が入ってこないように教員同士の立ち位置を工夫するなどします。確かに、個人で公共のトイレを使う時も中の様子は大変、気になります。中が見えるということはこういったことに対する安心感につながります。しかし、透明にしてしまう勇気には脱帽です。デザインされたのは世界的に有名なデザイナーの方です。このトイレについて氏は、

「公共のトイレはみんなのもの。自分のものであり、人のために使って使う場と考えてほしい。」

とおっしゃっているそうです。

話題性が先行すると考えていた自分がちょっと恥ずかしくなりました。「汚れる」「不安」「怖い」などマイナスイメージもある公共トイレです。そんな問題をなんとかしたいという想いがこの大胆な発想に辿り着かれたのだらうと考えると、真剣に物事に向かう時に何事も前に進むのだと改めて感じました。

教員も含め、どんな仕事も皆同じではないかと考えます。使う人や目の前にいる人（人だけでないと思いますが）が困っている状況を、真剣に何とかしたいと考える時に、新たな発想が生まれたり、自身の中の原動力がわいて来たりする経験を確認に私自身も積んできました。「人のために」という意識は己のためだけでは出せなかった力を生み出す意識と言えます。

将来の夢を語る時「まだ決まっていないけれど、人の役に立てる人になりたいです。」と話してくれる子供がいます。なんと素敵な言葉でしょう。慌てなくてもいいです。たくさんの方に挑戦して、たくさん試してほしいです。その根幹になる「人の役に立つ」ことの大切さを毎日の友達とのやり取りや異学年交流などで存分に感じ、自己有用感を高めていくことのできる学校を目指したいと思います。

10月から学年で工夫した取り組みが始まります。学年の発達段階や学習内容によって様々な取組となります。保護者・地域の皆様のご理解とご協力を頂きますようお願いいたします。

10月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
				1◆	2☆	3
4	5 委員会活動 子供相談週間(始)	6☆ ファミリーeルール(4)	7☆	8◆ 眼科検診	9☆ 子供相談週間(終)	10 土曜授業 薬物乱用防止教室(6)
11	12	13☆ S時程 遠足(2)自転車教室(3)	14☆	15◆ 避難訓練	16☆ S時程 耳鼻科検診 通知表渡し	17
18	19 クラブ活動 PTA会費集金日	20☆ S時程 セーフティー教室(1~ 3・み)お米の学校(5)	21☆	22◆	23☆ S時程 生活科見学(1)	24
25	26	27☆ 歯磨き巡回指導(3)	28☆	29◆ 造形遊び(み)	30☆	31

☆：こころのふれあい相談員の内田先生の勤務日(8:30~16:30)

◆：スクールカウンセラーの密田先生の勤務日(8:30~17:00) 詳細は裏面をご覧ください。

◆：スクールカウンセラーの密田先生の勤務日（８：３０～１７：００）

【保護者の皆様の相談（密田スクールカウンセラー）について】

「予約制」 相談員やスクールカウンセラーの勤務日に、相談室直通電話に連絡して直接予約をすることができます（相談室直通電話：080-2012-2131）。学校へ電話（03-3920-1011）して、副校長か担任に相談していただくことも可能です。

学校納付金について

学校納付金の未納が続きますと、教育活動に支障が生じます。必ず期日（口座振替の前日）までに、指定口座への入金（納入）をお願いします。なお、未納の状況に応じて、必要な法的措置をとる場合があります。